



国勢調査 2025

経営企画部政策企画課
企画・統計グループ

国勢調査 は、日本に住んでいる
すべての人と世帯を対象とした、
日本で最も重要な統計調査です。

5年に一度の重要な調査

なぜ、重要なのか？

調査の目的

国内の人口及び世帯の実態を把握し、
各種行政施策やその他の「基礎資料」を得る

(調査は1920年(大正9年)から始まり、今回調査は22回目)

調査の対象

牛久市に住む「すべての人と世帯」(外国人の方も含む)

(令和7年10月1日現在)

調査の流れ

令和7年9月下旬から、調査員が各世帯を訪問、調査書類を配布
調査への回答は、

- ①オンライン(インターネット)
- ②紙の調査票を市役所へ郵送
- ③紙の調査票を調査員に提出

のいずれかとなります。

令和7年調査の調査項目

<世帯員に関する項目>

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 氏名 | ⑦ 現在の住居における居住期間 |
| ② 男女の別 | ⑧ 5年前の住居の所在地 |
| ③ 出生の年月 | ⑨ 就業状態 |
| ④ 世帯主との続柄 | ⑩ 所属の事業所の名称及び事業の種類 |
| ⑤ 配偶の関係 | ⑪ 仕事の種類 |
| ⑥ 国籍 | ⑫ 従業上の地位 |
| | ⑬ 従業地又は通学地 |

<世帯に関する項目>

- ⑭ 世帯の種類
- ⑮ 世帯員の数
- ⑯ 住居の種類
- ⑰ 住居の建て方

調査結果は、何に使われるの？

各種店舗の出店計画にも使われています！

学術研究はもちろんのこと、企業や団体における製品の開発やサービスの需要予測等に利用され、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの立地計画、支店開設の際のエリアマーケティングや立地評価にも活用、地域ごとの人口の集中が視覚的にわかる地図が作成され、出店計画などに役立てられています。

生活環境の整備にも使われています！

地方公共団体による住みよいまちづくりのための、教育施設、環境衛生整備、市街地整備、河川、道路事業や広場の緑化推進などの基礎資料として、市町村ごとの結果だけでなく、さらに小さな地域(町丁・字等別の集計)についての統計も使用されます。

調査結果の利活用

地方交付税の算定にも使われてます！

地方交付税は、国勢調査の結果に基づき、交付する額が算定されるため、国勢調査の結果によって、交付額が増減するなど、財政状況に影響を及ぼすことがあります。

また、地方交付税のほか、一定の基準により国や県から交付される地方消費税交付金などについても、国勢調査の結果に基づき算定されています。

各種計画の立案にも活用されています！

市民の生活に直結する福祉施策や教育施策、防災対策、まちづくり、都市計画など、市の将来に影響を与える各施策を立案するうえで基礎となるのが、国勢調査から得られる人口の動向となります。

本市では、人口のデータを基礎として、総合計画、人口ビジョン、都市計画マスタープラン、地域福祉計画、教育大綱などを策定し、各種事業を執行しています。

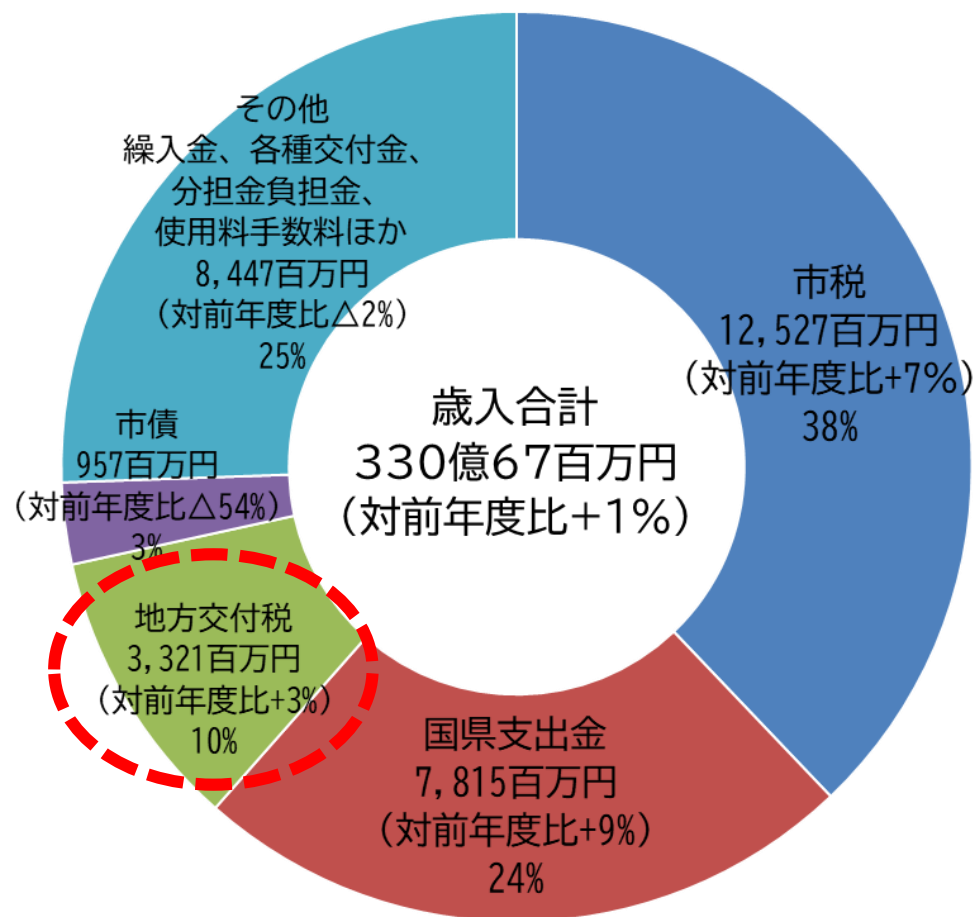
牛久市予算における地方交付税

令和7年度牛久市一般会計歳入予算は、住民税や固定資産税などの市税をはじめ、国県支出金(国・県からの補助金等)や地方交付税(※)などで構成されています。

地方交付税については、33億円となっており、市の行政運営を進めるための財源として、3番目に大きい予算となっています。この地方交付税の算定において、国勢調査の結果が活用されています。

(※)すべての地方団体が一定の水準を維持しうるよう財源を保障する見地から、国税として国が代わって徴収し、一定の合理的な基準によって再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」

令和7年度牛久市一般会計歳入予算の状況





令和7年国勢調査を実施するにあたって

市内 **調査区 611地区** において
調査員 400名 が調査を実施します。

実り多い有意義な調査となりますよう、
皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

